

The Membership of the National Museum of Modern Art, Kyoto



# 京都国立近代美術館 友の会会報

2008  
EARLY SPRING  
第18号



ルトヴィヒ・ホールヴァイン(カール・シュティラー・ジュニア靴店) 1910年  
ディ・ノイエ・ザンムルンク、州立応用美術館、ピナコテーク・デア・モデルネ内デザイン部門、ミュンヘン蔵

展覧会の



見どころ

# ドイツ・ポスター 1890-1933

2月16日〔火〕—3月30日〔日〕

休館日：毎週月曜日

19世紀末に創刊された美術雑誌『パン』や『ユエグント』そして1920年代のパウハウスのグラフィック・デザインは、すでに当時から日本でもよく知られていました。しかし、ドイツにおけるグラフィックとりわけポスターの発展を包括的に紹介した展覧会は、これまで開催されてきませんでした。

19世紀末のポスターといえば、ロートレックに代表される「絵画的ポスター」を中心としたフランスが有名ですが、その動向ならびにイギリスからの影響を受けて、ドイツでも1900年頃から近代的なポスター、つまり画とテキストが融合した新しい視覚媒体への関心が高まります。その背景として、1871年に統一を果たしたドイツの産業化による急激な経済成長がありました。当時頻繁に開催された博覧会や展覧会、そして相次いで発行された各種雑誌・新聞の宣伝だけではなく、大量生産された商品の宣伝が必要とされたのです。その課題に対処するために台頭してきたのが、ベルリンを中心としたいわゆる「サッハプラカート(即物的ポスター)」という、19世紀的な「絵画的ポスター」に対峙する新しい様式でした。中でもベルンハルトはその代表的作家として、広告ポスターの基本要素を三つのパーツ「画・背景・テキスト」に還元し、美的でありながら瞬間的な内容伝達を可能にする新たな画面構成を創造しました。例として1908年に靴販売店「シュティラー」のために制作されたポスターなどが挙げられます。新しい芸術分野であったポスターは、活発な商業活動と結びついて急速にその裾野を広げていき、最初の黄金時代を迎えます。熱心な個人コレクターも登場し、ベルリンの医師ハンス・ザックスは1905年に「ポスター愛好者協会」を設立し、雑誌『ポスター(Das Plakat)』を主宰して、この新興芸術の普及に努めました。

広告ポスターで発揮された高い伝達能力は、第一次世界大戦中にも「戦争公債募集ポスター」などに適用されていきましたが、敗戦後の政治的・経済的混乱の中では、戦前の洗練された様式は十分なインパクトを持ち得ず、新たな様式が模索されることになりました。帝政崩壊後の国民議会選挙のための政党ポスターでは、表現主義的な作風が主流となり、今までにない過激な表現が見られるようになりました。また敗戦の痛手から立ち直りつつあった1920年代には、大都市



ルネ・ビンダー / マックス・アイヒハイム  
《PRESSA (国際報道博覧会)、ケルン》1928年  
ベルリン国立博物館群、美術図書館蔵

を中心に「黄金の20年代」と呼ばれる文化爛熟時代を迎え、劇場や映画のポスター、旅行ポスターなどが数多く製作されました。そしてオフセットや写真媒体といった技術の向上を背景に、チヒョルトがフェーブス劇場のために制作した「映画ナポレオン」のポスターのような新たな表現形式も現れ、ドイツ近代ポスターはこの時期まさに第二の黄金時代を迎えるのです。

本展覧会ではさらに、杉浦非水を中心とした「七人社」の活動や、「カルピス」の国際懸賞募集ポスターを巡る逸話など、同時代の日本におけるドイツ・ポスターの受容・展開をも併せてご紹介します。国内外からポスター・資料約180点を集めて開催される本展は、ドイツ近代ポスターがもつ魅力の多彩さを堪能できる、またとない機会となるでしょう。

(当館主任研究員・池田祐子)

## こども時代の美術館 — 教育普及とは何?

19世紀フランスの小説家エミール・ゾラの『居酒屋』に、パリの屋根職人の若夫婦が結婚式の後、集まった親類や仲間と一緒に、ルーブル美術館へ出掛ける場面がある。貧しい若者の、いわば近場の新婚旅行の趣だが、映画化された同名の映画にもこの場面があって、鮮烈な印象を残している。京都で言えば、二条城へ行くようなものと言ってしまえばそれまでだが、かつては王侯貴族のコレクションであった数多の文化財が、フランス革命期を経て、すでに19世紀半ばには、その存在が広く、深く市民の中に浸透していたことが知られる。

『居酒屋』の若い一行のルーブル詣は、賑やかに、かしましく回廊を通り抜けてゆくだけのもので、それは観賞とは言い難いものであるが、思えば、われわれの小学校や中学校時代の美術観賞も、似たようなものであった。どっと300人ほどの生徒達が入場してくると、ゆっくり観賞したいと思う一般の人々は、総じて渋い顔をしたものだ。10分程もベンチに坐っていると、その嵐は過ぎゆくものと心得て、待っている人もあった。京都の学校では、日展の観賞が主流であったが、東山魁夷の代表作の一つ、〈道〉(1950)や徳岡神泉の〈鯉〉(1950)、〈池〉(1952)なども、このような騒々しい観賞の中で記憶に留めた。京都市美術館が米軍の接収を受けて展示できない事情もあって、日展は京都国立博物館で開かれていたが、雑草の生い茂る博物館の広い庭で、子供達は観賞後のひととき、かくれんぼなどして遊んだものだ。

こうした観賞の折、引率の先生が何か予備知識を与えたという記憶がない。先生の言ったことは、「絵に触れるな」「観賞は静かに」「何時に集合」といった類の、いわば注意事項であった。従って、肝腎の観賞では、何も記憶に留めない生徒も、ひどく感動した生

徒も、聞かれれば何点か印象に残った作品を挙げることの出来る程度の生徒もいた。

このような観賞の時代を思い返すと、近頃は随分ノウハウが充実している。観賞を促す教員自体の研修も盛んである。ある意味、無目的に、ぼんやりと観賞するなどにはあり得ないことも思える。一種のエリート教育と言え、言い過ぎだろうか。有名寺院も美術館も博物館も、ノーチェックで子供達が遊び、通り抜けることの出来た時代が、半世紀前にはあった。それが叶えられない時代の変化を嘆いても仕方がないし、教育の中の美術観賞に、方法論が必要であることは当然だが、学童・生徒に、より広い意味で美術に触れる機会を増やしてやることも、たとえ拾う穀粒は少なくとも、方法として迂遠であっても、必要なことなのではないだろうか。近代美術館勤務の30余年、小・中学生入場券の発行枚数の極めて少なかったことも、日本の現代の文化状況のある側面を表しているようで、示唆的であった。



当館の研修に参加した美術担当教員 1998年秋

(当館・友の会事務局長 加藤親子)

## 友の会よりのご案内

### 細見美術館春の特別展のご案内 ＜源氏絵と雅の系譜 — 王朝の恋 — ＞

2008年2月16日(土)～4月13日(日)

入館料：一般1000(団体800)円、学生800(600)円  
本館友の会会員は団体料金で入場できます。

開館時間：午前10時～午後6時(毎週月曜休館)

今年、『源氏物語』の成立から一千年。その記念行事が京都を中心に多く行われます。細見美術館のこの展覧会もその催しの一つ。『更級日記』の主人公の少女が、親に叱られつつ読み耽ったように、『源氏物語』は書かれた当時から、高い評価を受け、読みつがれた物語でした。時代が経過してもその人気は衰えず、やがて、さまざまな場面が絵画化されて、愉しまれるようになりました。やまと絵に「源氏絵」という一つの分野が生まれ、画帖、屏風、



源氏物語図色紙「初音」  
土佐光吉 細見美術館蔵

扇面など多様な展開をしましたが、江戸時代には、琳派を中心に王朝文化へのオマージュの気運が、漆、陶芸、染織などに、多くの斬新な「源氏物語デザイン」を誕生させました。この展覧会では、現代作家も含めた、多彩な「源氏物語」の美を鑑賞することができます。

#### 〈主な出品作品〉

源氏物語図色紙貼交屏風(滋賀県・石山寺蔵)  
扇面夕顔蒔絵引出箱(細見美術館蔵)  
志村ふくみ作 絨織「蛭」(滋賀県立近代美術館蔵)  
※なお、会期中展示替えが行われます。

## 友の会の催し

### 友の会・京都市立芸術大学音楽学部 共催によるコンサートのご案内

- サマーナイト・コンサート  
(ルノワール+ルノワール展開催中になります)  
日時：6月7日(土)午後6時開演  
(午後5時より正面テラスにてプレ・コンサート)
- オータムナイト・コンサート  
(アーツ・アンド・クラフツ展開催中になります)  
日時：10月11日(土)午後6時開演  
(午後5時より正面テラスにてプレ・コンサート)
- クリスマス・コンサート  
日時：12月20日(土)午後6時開演  
(午後5時より正面テラスにてプレ・コンサート)

なお、曲目は未定ですが、決まり次第広報いたします。

### 生誕100年記念 秋野不矩展講演会のお知らせ

日時：4月12日(土)午後1時30分から  
講師：京都市立芸術大学教授 小嶋悠司氏  
場所：当館1階講堂  
入場：約80名(12時30分から整理券を発行します)。無料

### 友の会春のバス・ツアーのご案内

友の会会員には、別途ご案内を送付します。  
日時：5月11日(日)  
行先：京都府南丹市美山町・秋野不矩画伯旧アトリエと「かやぶきの里」  
定員：40名(会員と非会員の同伴も可)  
料金：1人 5,500円(昼食代、施設等観覧料込み)  
申込み：当館インフォメーションにて。あるいは郵送も可(友の会へお問い合わせ下さい。)締め切りは4月18日(金)

- 開館時間  
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 夜間開館  
4月15日(金)～9月2日(金)までの企画展開催中の金曜日  
午前9時30分～午後8時まで(入館は午後7時30分まで)
- 休館日  
毎週月曜日(月曜日が休日に当たる場合は、翌日が休館)、及び年末年始  
(開館時間、休館日は臨時に変更する場合があります)

※お車でお越しの場合 岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越しください。

#### ● 交通案内



### 独立行政法人国立美術館 京都国立近代美術館

The National Museum of Modern Art, Kyoto

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
TEL. 075-761-4111

テレフォンサービス 075-761-9900  
ホームページ <http://www.momak.go.jp>